

学校だより **明るく 元気に たくましく**

平成23年3月1日発行

広島市立広島特別支援学校 校長 中尾 秀行

TEL 082-245-0304

FAX 082-245-0349

E-mail : yougo-s@e.city.hiroshima.jp

ホームページ : <http://www.hiroshimayogo.edu.city.hiroshima.jp/>



高等部第1学年校内実習（清掃班の作業の様子）

□ はじめに

三寒四温とはよく言ったもので、寒くなったり温かくなったりする日々が続いています。先日、ある研修会に行ってきました。講師の先生が、大学生の就職難のお話のなかで、よく大学でキャリア教育と銘打って、マナー講座を開き、お辞儀の角度が何度というような指導が行われていることに疑問を抱くと言われました。「なぜ、お辞儀をしなければならないのか」を考える力を育てることが大切なだと述べられたのでした。

今、本校では、卒業証書授与式の練習をしています。挨拶や返事の仕方、話を聞く態度など卒業証書授与式のための練習ではなくて、日頃の教育の成果が発揮された式であることを期待しています。そして、卒業生の門出を心からお祝いしたいと思います。

□ 公開授業研究会

1月26日（水）公開授業研究会を実施しました。研究主題は「一人一人の教育的ニーズに応じ、生きる力をはぐくむ授業づくり」、副題を「自立と社会参加を目指す教育課程の編成に向けて」として、小学部は生活単元学習、中学部は自立活動、高等部は作業学習（校内実習）の授業を公開しました。本校では、これまでキャリア教育に視点を当てた教育課程、「生きる力をはぐくむ授業づくり」のためにキャリア教育に視点を当てた授業づくりに取り組んできており、児童生徒の実態や教育的ニーズに応じた適切な指導と必要な支援を行い、児童生徒の力を最大限引き出していく授業を目指しています。41名の校外からの参加者とともに、分科会において、有意義な協議を行い、大きな収穫を得ることができました。

なお、1月28日（金）に実施された広島県立広島北特別支援学校の公開授業研究会へ7名、同日実施された愛媛大学教育研究会へ3名本校から参加しており、他校からも多くのことを学んで、本校の教育内容の充実に生かしていきます。



□ アート&バザール

1月27日（木）から1月29日（土）アステールプラザにおいて小規模作業所の製品の販売と展示、本校の作品や製品の展示を行いました。このたびは、小中学校の特別支援学級の児童生徒の作品の展示もありました。764名の市民の方が、本校児童生徒による学級旗、自画像、さをり織り、陶芸などの力作を熱心に鑑賞されました。「仕事帰りに来ることができるようにして欲しい。」「作り方や制作途中の様子が分かるような工夫をして欲しい。」などの感想もいただきました。この行事は、本校の児童生徒を知っていただくよい機会となっています。今後、児童生徒のよいところを引き出し、多くの人に認めていただき、児童生徒がより一層意欲的に学習に取り組めるよう充実させていきたいと考えています。



□ マーガレットコンサート

1月30日（日）マーガレットコンサートが、広島国際会議場で行われました。この行事は、障害のある人と障害のない人が協力し、相互の交流の促進を図ることを目的とするもので、広島交響楽団の演奏や合唱などがあります。この行事に参加することを希望した本校の高等部の生徒は、生の交響楽団の演奏で、「さんぽ」「見上げてごらん夜の星を」などの歌を合唱しました。生徒は、8回もの練習を重ねて発表した経験により、達成感を得ることができたことでしょう。そして、この経験は、また次の意欲につながっていくことと思います。どしどし学校外の行事にも参加し、経験を積むことで成長していくことを願っています。



□ 高等部入学調査

2月9日（水）高等部49名の出願者の入学調査を実施しました。どの出願者も課題に一生懸命に取り組んでいました。このたびは、国語や数学の内容に関する問題も出題しました。入



学後に、生徒の教育的ニーズに応じた指導ができるようよりの確な情報を集めるという意味があります。今後も、引き続き、よりよい入学調査の在り方について検討していきたいと考えています。

□ 学校保健委員会

2月10日（木）に第2回学校保健委員会を開催しました。学校医、学校歯科医、学校薬剤師の方に御参加いただき、本年度の本校の取組について話し合いました。特に、学校歯科医と連携した児童生徒への歯磨き指導の実施について、その成果と課題について発表しました。また、学校歯科医の上田先生から、虫歯予防についてシュガーレスのおやつを時間を決めて食べることがよいこと、フッ素入り歯磨き剤がよいことなど、すぐに役立つことを、わかりやすく教えていただきました。ありがとうございました。



□ 地域生活・就労支援ネットワーク会

児童生徒の地域における生活・就労支援を進めるために、2月14日（月）地域生活・就労支援ネットワーク会を開催しました。参加していただいた方は、第一もみじ作業所、きつつき作業所、おりづる作業所、安芸の郷、柏学園、育成会、もみじめ一ふる、こども療育センターの8名の関係機関の皆様、PTAからは、会長、副会長、進路部長の皆様に来校していただきました。気軽に相談ができるように、もっと啓発していくことが大切であること、本校の校内実習において、集団の中で一緒に行うことができる力をいかに育てるかということなど貴重な御意見をいただきました。今後とも、専門機関の皆様には御協力をお願いします。



□ 小学部低学年発表会

2月18日（金）小学部低学年の発表会を行いました。第1学年は、「おおきなかぶ」、第2学年は、「もりのがっこうの1にち」、第3学年は、「しらゆきひめ」です。背景画や発表会の案内状、看板、プレイルームの飾りなど、訪問学級の児童も一緒になって協力して制作しました。発表会に一生懸命取り組み、保護者の方に見て評価していただいたことで、児童は、「できたあ。」「やったあ。」という満足感と自信を得たことでしょう。よく頑張りました。こうした体験を繰り返し行うことが、児童の成長にとっても大切なことだと考えています。



□ 安全祈願祭

2月22日（火）宇品の出島地区で、本校校舎新築工事の安全祈願祭が行われました。本校からは校長が出席し、地元自治会の方をはじめ、広島市都市整備局、建設業者など約50名の方々により厳粛に執り行われました。平成23年2月23日付の中国新聞朝刊に記事が掲載されました。いよいよ新校舎の建設が始まります。これまで難航したことが思い出され、感慨深いものがあります。今後、引越の準備をはじめ、地元との関係作りなどに努めていきたいと考えています。



□ お知らせ

○ 広島県教育委員会主催の平成22年度ことばの輝き優秀作品コンクールで、本校中学部第3学年の山中剛範君が優秀賞を受賞しました。作品は、「やまがきいろ きれいなみかん たべたいな」です。これは、10月に国語の授業で作った俳句を応募したものです。秋をテーマとし、そのテーマから紅葉を連想し、またその山の黄色から身近な食べ物であるみかんをイメージした作品です。山中君、おめでとう。



○ 本校の中学部第3学年の取組が、明治図書の雑誌「自閉症教育の実践研究2月号」に掲載されました。テーマは、ソーシャルスキルを身に付ける指導・支援で、「時間を意識し、自主的に活動することをめざして」と題して、取り組んだものです。教育で重要なことは、高い専門性をもって、質の高い授業を行うことだと考えます。今後とも、児童生徒の成長のために、教職員同士が切磋琢磨して、よりよい実践を目指していきたいと思ひます。